

第 5 4 9 回番組審議会報告

開催日 : 令和 8 年 7 月 22 日 (水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長／相馬佳苗 副委員長／中川愛美 委員／堀内史子 委員
岡崎彌門 委員／齋藤知明 委員

議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢 代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率関連 山口 編成業務局長兼番組審議会事務局長
2. 報道・制作関連 工藤 メディア情報局長
3. 意見集約

第 95 回系列番組審議会 委員代表者会議 テーマ

生成 AI・SNS 時代におけるテレビの「価値と責任」～革新技術とどう向き合うか～

◎その他

内容 : 生成 AI の進歩は、テレビ制作に大きな変革をもたらしている。新しい映像表現や企画の発想、業務の効率化など、コンテンツ創出の可能性は広がり、ビジネス面でも新たな展開が期待されている。テレビ朝日では、ファクトチェック AI や番組で使える最新 XR 技術などを開発し、さまざまな取り組みをはじめている。

同時に、人間の創造性や判断と AI をどのように組み合わせていくのかも重要なテーマである。AI の力を生かしながら、最終的な編集や判断において人間の視点と責任をどう位置づけるのか。また、SNS でフェイク画像や動画が瞬時に拡散する現代では、テレビ局にはそうした情報の扱い方を常にアップデートする姿勢が求められている。こうした論点は、放送法のもとで培われてきた視聴者からの信頼や放送責任とも深く関わっている。

生成 AI と SNS がもたらす新たな環境の中で、テレビが価値を発揮し続けるためには何が必要なのか。革新技術とどのように向き合い、その活用のあり方をどう考えるのかといった視点から、テレビ朝日系列として議論を深めたい。

委員からは

「偽の情報の見抜き方やリテラシーを学べるような番組を企画してはどうか」

「テレビ局が独自に検証し、偽の情報を打ち消す報道を積極的に行ってほしい」

「AI や SNS を補助的に使いながら、世界をターゲットにした番組を制作してほしい」

「報道やドキュメンタリーの分野では、AI が科学的な情報を参考にして作成する映像は効果的だ」

「AI に任せる部分と人間が担う部分を見極めることがテレビ局の責任だ」

「視聴者の満足度と、テレビの価値を両立するために、嘘の情報を排除する対応が必要」

「地道な取材や検証作業と、AI や SNS を上手に併用することを期待したい」

などの意見が出されました。

以上